

阿波市議会だより

第55号

年4回発行
[令和2年6月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田 201 番地 1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <http://www.city.awa.lg.jp/gikai/>



令和2年 第1回 阿波市議会定例会の概要

第1回定例会は、2月25日から3月18日までの23日間の会期が開かれました。開会日には藤井市長から、令和2年度当初予算について、安全・安心のまちづくり、子育て応援のまちづくりの二本の柱を引き続き施策の中心に据え編成しており、主な事業として、指定避難所整備事業、伊沢谷飲料水供給施設の整備、スマートインターチェンジの設置に向けた調査設計業務、企業立地促進助成金、婚活応援事業、教育ICT環境整備事業、フッ化物洗口事業などがあるとの説明がありました。

そのあと、令和元年度一般会計補正予算などについて概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問では、12人が市政全般について考えを問ひ、財政、防災対策、環境、子育て支援、福祉、農業振興、産業、建設関係などについて議論しました。3月11日に産業建設、12日に文教厚生、13日に総務の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。

閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長提出議案をいずれも可決し、追加議案として、議員発案による、阿波市議会条例の一部を改正する条例が提出され可決しました。また、予算案件1件及び副市長・監査委員（議会選出）の選任など人事案件3件が提出されいずれも可決・同意しました。

その後、議長、副議長の辞職に伴う選挙が行われ新議長に松村幸治議員が、新副議長に笠井一司議員が就任しました。

代表質問

原田 定信 議員
(志政クラブ)



問 令和になり初めての当初予算が計上され、一般会計で192億4,500万円が示されたがどのように肉付けしていくか市長に於いては任期最終年度に差しかり多く大型事業や工場誘致にも成功されたが、今後進んでいく考え方は。

答 安全安心のまちづくり、活力あふれるまちづくり、子育て応援のまちづくりを施策の三本柱として取り組み、多くの成果を得た。「子育てするなら阿波市」の継続や企業誘致、安全安心のまちづくりを推進し、生活道路、水道施設の整備、交通手段の確保、住宅環境の整備を促進していきたい。

問 大型の事業とは裏腹に観光面については非常に脆弱になつていないか。特に旧阿波町で設置したそよ風広場の遊具は木製のため、既に耐用年数が過ぎ相当地に腐敗が進んでいる。また、

代表質問

川人 敏男 議員
(阿波みらい)



問 新しきごみ施設での燃料化方式による処理は、市が従来どおり収集、香川県ではベンチャー企業に委託、阿波市・板野町・上板町内のごみで固形燃料に加工、それを市外・県外の製紙会社等へ売却し、焼却処分する。この方法を採用しているのは、全国で一カ所。倒産でもするとごみ収集はストップする。また、固形燃料を持ち込む自治体の了承を得るのは極めて難しい。燃料化方式はリスクが多すぎる。大半の市町村が採用しているストロー方式に変更されたい。

答 そよ風広場の遊具については、修繕でなく新設を考えていきたい。阿波パークキングについても土柱の活性化計画の中で検討し、実現性、財政面を見極めて進んでいきたい。

代表質問

榎原 伸 議員
(阿波清風会)



問 財政見直しと健全な財政運営について。

答 自主財源を増やす仕組みの充実や財政のシム化を図っていることから、健全な財政状況で推移するものと見込んでいる。

代表質問

笠井 安之 議員
(はばたき)



問 公文書の適正管理と処理及び保存方法について。

答 阿波市の公文書の管理につ



一般質問

吉田 稔 議員
(阿波清風会)



問 予算や行政改革への取り組みをもっと分かりやすく公表すべき。

答 創意工夫を凝らしながら、市民が理解できるように広報の仕方を進めていく。

問 阿波病院を中心施設とした地域包括ケアシステムを構築しては。

答 在宅医療・介護連携推進を阿波病院に委託している。更に生活支援や介護予防など地域包括ケアシステムの深化を図っていく。

問 何でも採れるという阿波市の強みを生かしたブランド戦力とはどういふものか。その成果について。

答 13品目を選定し、伝統・挑戦・活力の阿波市農業振興事業により生産量や販売体制を支援している。さらに柿島レタスなど22品目を認証し、ふるさと納税返礼品として高評価をいただき、販路拡大にもつながっている。

問 災害発生時の飲料水確保について。

答 市役所北側に1,500m³を貯留できる市場高区配水池を築造しており、災害発生時に市民約3万7,000人に5日間、飲料水を供給することができ。令和2年度には、阿波町に小倉高区配水池の築造工事に着手するとともに、今後市場高区配水池に2基目のタンクを増設し、ライフラインが寸断された場合の飲料水確保を大幅に向上させる。

問 農業次世代人材投資事業について、就農支援の成果と取り組み状況は。

答 事業開始より8年目を迎えているが、75名が交付を受けており現在67名が農業に定着している。新規就農者に対しサポートチームを結成するとともに巡回相談員を配置している。各種支援事業も用意している。

問 私立認定こども園を開設することにより、行財政改革はどの程度進んだのか。待機児童はあるのか。

答 人件費の削減により約2億円、また、施設整備を民間が行うことで約10億8,800万円の削減効果を見込んでいる。4月からの待機児童は解消の見込みである。

問 デマンド型乗合交通に替えて、タクシー利用者に助成券を交付した方が、財政負担が少なく利便性も高いのではないか。

答 1月末までの利用者一人に対する投資額は、約2,700円となっている。2年間の実証実験運行を通して、公共交通機関としての課題や問題点を検証して市民ニーズに応えていきたい。

問 準過疎地域を有する本市の対策は。

答 国に対し、本市の実情を踏まえた要望活動を更に続けていきたい。

問 土柱だけではなく、そよ風広場や土柱の湯など、土柱周辺の観光資源を一体的に捉えた観光戦略が重要であると認識している。

問 土柱の活性化に向けて、関係人口や交流人口をどのように取り込んでいくのか。

答 将来的には、本市への移住や地域づくりの担い手を確保するため、地域や地域の人々様に関わる人口を増やしていきたい。

問 滞在型観光を強めるために、他の観光資源とどのように結びつけていくのか。

答 他の観光資源とネットワーク化を図り、近隣市町村を結ぶ新たな観光ルートの開発などに取り組んでいる。

問 公共交通の8時台の運行の検討について。

答 7時台を対象にしている交通弱者である学生の方の利用ができません。利用状況等の結果も踏まえて慎重な判断を行う。

問 避難所の耐震及びトイレ洋式化の計画内容並びに自主防災組織への支援状況について。

答 阿波市災害時快適トイレ計画に基づき、トイレの多目的・洋式化を予定している避難所は、吉野中央ふれあいセンターほか9施設、改修工事予定の大保公民館ほか3施設であり、また、学校の屋外トイレ6カ所についても整備を行っている。自主防災組織への支援については、結成準備会等に必要経費の補助及び防災資機材を貸与する。

問 婚活支援について。

答 婚活応援事業を実施し、出会いを阿波市で増やすため、マ

代表質問

藤本 功男 議員
(はばたき)



問 阿波市の子どものネット環境の実態はどうなっているのか。

答 スマートフォンなどの所持率は小学6年生で58・1%、中学2年生で77・8%。SNS上でのトラブルは小学6年生で15%、中学2年生で22%となっている。

問 ネットを悪用した犯罪やトラブルから子どもたちを守る取り組みをどのように進めているのか。

答 子どもへの情報モラルの育成、保護者への説明会、専門家を招いての研修などを行っている。

問 デジタル読解力など、デジタル社会を生き抜く力をどのようにつけていくのか。

答 データの信頼性について考えさせる時間をとり、調べ学習を充実させ、討論する力をつけるなど、デジタル読解力の向上を意識した言語活動の充実を一層図っていく。

問 会計年度任用職員とはどのような制度なのか。

答 地方公務員法及び地方自治法の改正によって、臨時職員の処遇改善を図ることを目的に創設された制度である。

問 この制度変更によって、どのように待遇改善が図られているのか。

答 給与が平均6・2%上昇し、期末手当等が支給される。安定的な雇用が図られるなど働き方

代表質問

後藤 修 議員
(はばたき)



問 観光戦略として、土柱とその周辺の実態をどう捉えているのか。

答 土柱だけではなく、そよ風広場や土柱の湯など、土柱周辺の観光資源を一体的に捉えた観光戦略が重要であると認識している。

問 土柱の活性化に向けて、関係人口や交流人口をどのように取り込んでいくのか。

答 将来的には、本市への移住や地域づくりの担い手を確保するため、地域や地域の人々様に関わる人口を増やしていきたい。

問 滞在型観光を強めるために、他の観光資源とどのように結びつけていくのか。

答 他の観光資源とネットワーク化を図り、近隣市町村を結ぶ新たな観光ルートの開発などに取り組んでいる。

問 公共交通の8時台の運行の検討について。

答 7時台を対象にしている交通弱者である学生の方の利用ができません。利用状況等の結果も踏まえて慎重な判断を行う。

問 避難所の耐震及びトイレ洋式化の計画内容並びに自主防災組織への支援状況について。

答 阿波市災害時快適トイレ計画に基づき、トイレの多目的・洋式化を予定している避難所は、吉野中央ふれあいセンターほか9施設、改修工事予定の大保公民館ほか3施設であり、また、学校の屋外トイレ6カ所についても整備を行っている。自主防災組織への支援については、結成準備会等に必要経費の補助及び防災資機材を貸与する。

問 婚活支援について。

答 婚活応援事業を実施し、出会いを阿波市で増やすため、マ

改革につながる。

リッサとくしまなどと連携を強化する。相談会やイベントなどをアエルワで開催し、婚活を応援していく。

問 放課後児童クラブの運営会社が替わり一年が経過しようとしているが運営状況について。

答 支援者の負担軽減に努め、誕生会や遠足、おやつ等に関する意見も多くあることから、保護者のニーズを聞きながら改善していく。

武澤 豪 議員
(志政クラブ)



問 コロナウイルスに対する市の対応、及び感染を予防するための有効策は。

答 手洗いの徹底や咳エチケット、人混みを避ける、体温測定を行うなどチラシで啓発している。

問 阿波市としての対策は。

答 阿波市新型コロナウイルス連絡調整会議を開催し、協議を行っている。また、情報連絡室を危機管理課に設置し、市民からの相談窓口を健康推進課に設置している。

問 感染の疑いがある場合はどのように対処すればよいか。

答 まず、吉野川保健所に相談してもらい、指定された医療機関を受診していただく。必要に応じて検査、接触者の調査、健康観察を県が行う。

問 検査機関でのスムーズな検査休業者に対する給料の一部補助なども考えてもらい、後手後手にならない対策をお願いしたい。

答 高齢者が運転免許証を返納しやすい環境を整備するために、阿波市デマンド型乗合交通の実証実験を行っている。多くの市民の皆様にとって効率的で利便性の高い公共交通に取り組みたい。

中野 厚志 議員
(日本共産党)



問 本市の廃棄物処理の基本計画理念を教えてください。

答 現在の計画は、平成30年3月に改訂し、「ごみを出さない・なくす」ことに重点を置く。毎日の生活の中で、①ごみになるようなものは貫わず断るリフューズ。(Reduce) ②ごみを出さないようにするリデュース。(Reduce) ③繰り返し使うリユース。(Reuse) ④使ったものを資源として再利用するリサイクル。(Recycle)の頭文字をとった「4R」の実践で、ごみの減量化を図る。理念は「協働・創造・自立のまちづくり」と定義している。

問 「フツ化物流口事業に15万円」が決まった経緯と取り組みについて、賛否両論があるが。

答 フツ化物の塗布は2歳児健診等で市の独自事業として実施していた。歯科医師会から永久歯に生え変わる時期に実施する効果や、歯磨きが上手くなっていない子どもの状況を伺い、取り組むことになった。歯科医師の指導をいただきながら、保護者の同意を得たうえで実施したい。

問 今議会案に提出されている「国保税条例の一部改正」について。

答 国保税率の引き下げを提案する。令和元年度の国保会計の「実質単年度収支」は約4,000万円黒字の決算見込みとなっており、一方で平成30年度から、国保財政の責任主体が県に移管となり、県に納付する金額が令和2年度に1,762万5,000円増額となること決定した。黒字分から増額分を差し引いた「約2,300万円」を市民の皆様へ還元する。県標準保険料率による平均保険料は、現行の保険料より高い10万4,605円となるが、今回の改正税率により9万9,021円まで下がる。

坂東 重夫 議員
(はげたき)



問 阿波市の一般会計の基金の現状と活用方法及び今後の運用方針について。

答 平成30年度末の基金残高が141億3,000万円となっており、阿波市発足後の平成17年度末と比較すると約104億円増加した。基金の運用については、定額預金だけにとどめず、地方債や地方公社債といった「有価証券」を購入し、安全で確実な運用先で少しでも運用益が上がるよう努めている。

問 「防犯カメラ」の設置状況と今後の設置計画について。

答 市内10小学校区に各1台、合計10台を通学路に設置し、令和元年10月より運用を開始している。当初予算に約500万円を計上するなど引き続き、計画的に事業を推進していく。

問 「危険ブロック塀等安全対策支援事業」の制度内容と周知方法について。

答 この事業は、危険ブロック塀の撤去、処分、フェンスの新設に対し33万2,000円を上限に経費額の3分の2を助成する事業である。ACN、阿波市ホームページで周知を行うとともに「広報阿波」においても制度内容を掲載し、事業の周知に努めていく。

問 企業誘致について。企業誘致については、専従の担当部署を設置して取り組んでいくべきと考えるが市の方針は。

答 従来の団地開発では企業ニーズに柔軟に対応できないので、オーダーメイド型の企業誘致を進める。昨年末では商工観光課の担当者1名であったが、本年度は専従の2名を配属し成果を上げている。今後は専従の職員を中心とし、全庁一丸となって企業誘致に取り組んでいく。

木村 松雄 議員
(志政クラブ)



問 市道矢松田中線改良工事について、本事業の進捗状況と今後の予定は。

答 本路線の計画は延長約860m、車道部が片側一車線の二

江澤 信明 議員
(阿波清風会)



問 第1次阿波市総合戦略の実績と総括について、また、第2次阿波市総合戦略には市長の考えをどのように反映しているか。

答 第1次阿波市総合戦略では4つの基本目標を掲げ取り組んできた。実績として、ふるさと納税制度の充実、オーダーメイ

車線で幅員7m、東側に幅員3.5mの歩道を設ける設計とし、工事の進行確保に配慮するため西側へ拡幅する計画である。現在の進捗は三工区に分割しての境界立会いが完了し、用地取得を進めているところであり、約26%の用地が契約済みで、3月24日には150mの工事契約の予定である。令和2年度には2,000万円を計上しているが、更に補正予算の追加も検討しており、令和5年度の完成を目指している。

令和2年第1回 阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (2月25日～3月18日)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和元年度阿波市一般会計補正予算(第6号)について	原案可決
議案第2号	令和元年度阿波市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第3号	令和元年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
議案第4号	令和元年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第5号	令和2年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第6号	令和2年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第7号	令和2年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第8号	令和2年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第9号	令和2年度阿波市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第10号	令和2年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第11号	令和2年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第12号	令和2年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第13号	阿波市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るための行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第15号	阿波市おもてなし公園設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決
議案第16号	阿波市行政組織の再編成に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第17号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第18号	阿波市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	阿波市消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	阿波市印鑑登録条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	阿波市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	阿波市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	阿波市立保育所設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	阿波市立幼保連携型認定こども園設置条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	阿波市立幼保連携型土成中央認定こども園入所園児の通園バスの使用に関する条例の廃止について	原案可決
議案第26号	阿波市放課後児童クラブ設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	阿波市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	阿波市工場立地法地域準則条例の一部改正について	原案可決
議案第29号	阿波市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議案第30号	阿波市立幼稚園保育料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第31号	阿波市立図書館等の地番の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第32号	阿波市公民館条例の一部改正について	原案可決
議案第33号	阿波市道路線の認定について	原案可決
議案第34号	阿波市道路線の変更について	原案可決
議案第35号	阿波市道路線の廃止について	原案可決
報告第1号	債権の放棄について	—
議案第36号	令和元年度阿波市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決
議案第37号	副市長の選任について	同意
議案第38号	監査委員(議会選出)の選任について	同意
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
発委第1号	阿波市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
—	議長選挙について	選挙
—	副議長選挙について	選挙
—	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選挙
—	中央広域環境施設組合議会の議員選出について	選挙
—	阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	選挙
—	阿北環境整備組合議会の議員選出について	選挙
—	阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	選挙

活動状況報告

●委員会等の開催状況(3月～5月)

令和2年3月5日	第1回阿波市議会定例会本会議(代表・一般質問) 全員協議会
6日	第1回阿波市議会定例会本会議(一般質問)
11日	産業建設常任委員会
12日	文教厚生常任委員会
13日	総務常任委員会
18日	第1回阿波市議会定例会本会議(閉会) 議会運営委員会 全員協議会
5月1日	議会運営委員会
8日	第1回阿波市議会臨時会本会議
19日	議会広報特別委員会

74名減るため、予算については前年度比で、約1億1,800万円の減額を見込んでいる。公営で運営する認定こども園については、正規職員60名、非正規職員49名を配属予定としており、正規職員の割合は前年比で約9%上昇し、55%となる。

議会をより編集雑感

「学校に行きたいなあ。」これは、近所のある女の子のつぶやきです。希望に燃える新学期なのに、それを奪う新型コロナウイルスの波が加速する世界にあって、いつどんな危機が押し寄せてくるのか、予想することすら難しくなっています。

こんなとき、政治の役割がますます問われます。有無を言わず強権を発動し、自由を制約してでも、危機を回避するやり方がいのでしょうか。それとも、国民一人ひとりがどうすれば危機から逃れることができるのか考え、行動できる指針を明確にするやり方があるのでしょうか。

新型コロナウイルスは、危機管理のあり方を私たちに投げかけている気がします。(藤本功男)